

図書館だより

第58号

令和7年2月 加須市立図書館：発行

特集①：浮世絵の楽しみ方

江戸時代の版元、蔦屋重三郎が主人公の大河ドラマが始まり、浮世絵が注目を浴びています。今回は、代表的な絵師や作品、浮世絵に描かれるファッションや江戸の出版文化などに関する図書を取り上げ、浮世絵の楽しみ方を探ります。



『蔦屋重三郎』鈴木 俊幸／監修 平凡社

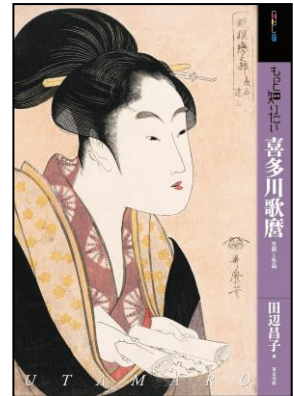
蔦屋重三郎（蔦重）は、吉原のガイドブックの刊行により本屋稼業をスタート。その後蔦重は、新進の絵師を発掘したり、錦絵シリーズを老舗版元と共同出版するなど、出版界のプロデューサーとして多方面で活躍します。

江戸文化の風雲児としての業績と、彼の生きた吉原のきらびやかな世界を紐解きます。

『もっと知りたい喜多川歌麿』田辺 昌子／著 東京美術

蔦屋重三郎に見いだされ、一気に有名絵師となった喜多川歌麿。歌麿といえば、遊女や評判の町娘を描いた美人画が思い浮かびます。しかし歌麿は、虫や植物などの非常に写実的で精緻な絵や春画、肉筆画の大作など、多様な作品を手がけました。

あらゆる美を描き出す歌麿の神髄に触れる1冊です。



『イラストでわかるお江戸ファッション図鑑』

なでしこりん 撫子 凜／著 丸山 伸彦／監修 マール社



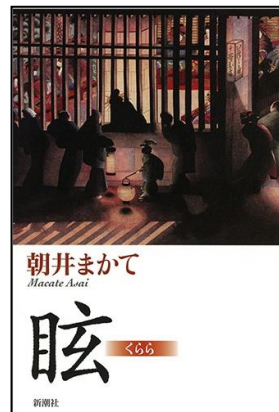
浮世絵を鑑賞すると、描かれている人物の着物の凝った柄や美しさに目を奪われます。本書では、町娘や若衆、役者や遊女などの着物、髪形、装身具についてイラストで紹介します。

著者がイラストのもとにした浮世絵のタイトルと絵師も載っているので、浮世絵鑑賞の手助けになります。

『眩 (くらら)』 朝井 まかて／著 新潮社

「どこで生きてても、あたしは絵師だ。」葛飾北斎の娘として生まれ、浮世絵師となった葛飾応為ことお栄。北斎に「美人画にかけては応為にはかなわない」と言わしめたお栄の人生をたどる物語です。

お栄は色彩と明暗の表現を突き詰め、本書の表紙を飾る「吉原格子先之図」などの優れた肉筆画を残しました。より良い絵を描くため奮闘する姿に胸が熱くなります。



『図説江戸のエンタメ 小説本の世界』

深光 富士男／著 河出書房新社

江戸っ子が夢中で読んだのが、「南総里見八犬伝」や「椿説弓張月」などのいわば絵入りエンタメ小説です。これらには、濃密で迫力のある大きな挿し絵が入っていて、北斎や歌川豊国などの人気絵師が担当していました。

本によっては、吹き出しのような囲みや爆発シーンの表現など、現代の漫画に通じる表現もあり楽しめます。



『浮世絵でたどる！江戸の凸凹地形散歩』 渡邊 晃／著 山川出版社

お茶の水駅や渋谷駅周辺を歩くと、坂が多く高低差に富んだ地形であることが分かります。広重の描いた「名所江戸百景」では、高台の^{きわ}際に立地する神田明神や花見の名所である飛鳥山からの眺望など、高低差が作り出す江戸の豊かな自然景観を楽しむことができます。

本書を片手に、浮世絵に描かれた当時の風景に思いをはせながら街歩きをするのも楽しいですよ。



『日本浮世絵博物館浮世絵名品 100 選』

日本浮世絵博物館／監修 藤澤 紫／責任編集 小学館

世界有数の浮世絵コレクションを誇る、日本浮世絵博物館所蔵品から、選りすぐりの百点を掲載した作品集です。北斎や広重をはじめ、迫力ある武者絵で人気を博した歌川国芳や、日本国内の所蔵が少ない鈴木春信など、幅広く美品が掲載されています。

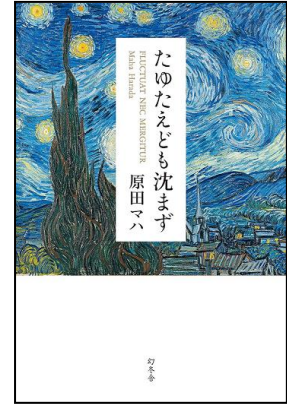
どの作品も保存状態が良く、判型も大きいので、細部まで絵師や彫師の技術の粋を鑑賞できるのが魅力です。



『たゆたえども沈まず』原田 マハ／著 幻冬舎

19世紀後半のパリ。画廊勤めのテオは、無名の画家である兄・ゴッホの絵を、どうにか世に出そうとしていました。そして兄弟は、パリで浮世絵などの日本美術を商う画商の林忠正と運命的な出会いをします。

ジャポニスムに熱狂するパリの美術界や、ゴッホが浮世絵に衝撃を受け、それまでと全く違うタッチの絵に挑戦する姿などを描く、読み応えのあるアート小説です。



☆☆☆こちらもどうぞ☆☆☆

『星落ちて、なお』澤田 瞳子／著 文藝春秋

『江戸のジャーナリスト 葛飾北斎』千野 境子／著 国土社

『広重ぶるう』梶 よう子／著 新潮社

『もっと知りたい東洲斎写楽』田沢 裕賀^{ひろがき}／著 東京美術

『これ1冊でわかる！ 蔦屋重三郎と江戸文化』伊藤 賀一／著 Gakken

『怖い浮世絵』日野原 健司／編 渡邊 晃／編 太田記念美術館／監修 青幻舎

特集②：おくりもの



2月はバレンタイン、3月は卒業や退職、そして4月は入学や入社など、誰かにプレゼントをすることが多い季節です。そこで贈り物にまつわる本をご紹介します。

『ボンボニエールと近代皇室文化』

長佐古 美奈子^{ながさこ}／著 えにし書房

☆精巧で美しい工芸品の「ボンボニエール」（菓子器）を豊富な写真で紹介。

『うれしいおくりもの』

杉浦 さやか／著 池田書店

☆誕生日や出産祝いなど特別な日や日常のちょっとした贈り物のアイデアがいっぱいです。

『折形』

内野 敏子／著 文化学園文化出版局

☆折形とは進物の包み方を示した武家の礼法のこと。現代風にアレンジした包み方も紹介しています。

『手紙にそえる季節の言葉 365日』

山下 景子／著 朝日新聞出版

☆大切なあの人へ、言葉の贈り物をしませんか？

☆☆こちらもどうぞ☆☆

『ギフト』原田 マハ／著 ポプラ社

『バスボムレシピ』篠原 由子／著 河出書房新社

『塩 地球からの贈り物』片平 孝／著 PHP 研究所

『宅配クライシス』日本経済新聞社／編 日本経済新聞出版社

『おしゃれなラッピングレッスン』宮岡 宏会^{ひろあき}／監修・制作 学研パブリッシング

図書館カレンダー



2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 ▲	4 △	5	6	7	8
9	10 ▲	11	12 △	13	14 ×	15 ×
16 ×	17 ×	18 ×	19 ×	20 ×	21 ×	22 ×
23 ×	24 ×	25 ×	26 ×	27 ×	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 ▲	4 △	5	6	7	8
9	10 ▲	11 △	12	13	14	15
16	17 ▲	18 △	19	20	21	22
23	24 ▲	25 △	26	27	28	29
30	31 ×					

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1 ×	2	3	4	5
6	7 ▲	8 △	9	10	11	12
13	14 ▲	15 △	16	17	18	19
20	21 ▲	22 △	23	24	25	26
27	28 ▲	29	30 ×			

×…全館休館日 △…加須図書館休館日 ▲…騎西・北川辺・おおとね図書館休館日

*開館時間 加須図書館…9:30～20:00 騎西・北川辺・おおとね図書館…9:30～18:00

蔵書点検・図書館システム更新に伴う休館と 図書館ウェブサイトの停止について

【休館期間】 2月14日（金）から2月27日（木）まで

【Web停止期間】 2月14日（金）から2月28日（金）9:30まで

図書館資料の点検と図書館システム更新のため、市内全図書館は休館となります。ご利用の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。休館期間中もブックポストで返却が可能です。※CD・ビデオ・DVD（おおとね館は紙芝居も）は除きます。

また、休館中は図書館ウェブサイトや電話による資料の検索・予約、利用者照会などのサービスがすべて停止となります。ウェブサイトの再開は28日（金）9:30を予定しています。

【お問い合わせ】

- 加須図書館
中央2-4-17 電話：0480-61-8200
- 騎西図書館
根古屋633-10 電話：0480-73-3178
- 北川辺図書館
麦倉1473-1 電話：0280-62-4400
- 童謡のふる里おおとね図書館
琴寄597-1 電話：0480-78-2211

☆図書館Webサイト



<https://www.library.kazo.saitama.jp/>